

一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

第6回 通常総会 議案書

【日時】 2015年6月27日(土)16:00～16:45

【場所】 浦和コミュニティセンター 第8集会室
埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11-1

<次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
 - 第1号議案 2014年度(第6期)事業報告の件
 - 第2号議案 2014年度(第6期)収支決算報告の件
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員改選について
 - 第4号議案 2015年度(第7期)事業計画(案)の件
 - 第5号議案 2015年度(第7期)収支予算(案)の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉

2014年度活動報告

月	事業	運営
4月	多胎ファミリー教室事業会議(30日愛知県名古屋市) 多胎ファミリー教室資料作成	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMBA NEWS発行 (No.41～44:4回) ・HPの更新 ・情報提供 (古河市、子育て教育・応援誌『灯台』(第三文明社、京都府助産師会、多胎家庭他) ・立ち上げ支援相談(みやぎ多胎ネット)
5月	研修プログラム事業会議(31日大阪府大阪市)	
6月	第1回理事会・各事業会議(21日福岡県北九州市) 第5回総会・第5回全国研修会・第2回理事会(22日福岡県北九州市)	
7月	(事務局移転)	
8月	多胎ファミリー教室運営講座試行(9日・岐阜県岐阜市) ↓	
9月	「子ども虐待防止世界会議 名古屋2014」参加 (14,15日) 多胎ファミリー教室資料修正	
10月	ツインズファミリー子育てひろばにWelcome!研修会①(16日愛知県豊橋市) 講師派遣(27日東京都月島保健センター講演会)	
11月	ツインズファミリー子育てひろばにWelcome!研修会②(7日鹿児島県鹿児島市) ツインズファミリー子育てひろばにWelcome!研修会③(28日京都府京都市) ICOMBO総会・集会(16～19日)	
12月	みやぎ多胎ネット設立集会立ち会い・事業説明(14日宮城県仙台市)	
1月	日本双生児研究学会参加(24日石川県金沢市) 各事業会議・第3回理事会(25日石川県金沢市) ↓	
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

2014年度 事業報告

定款の事業名	事業内容	実施時期・回数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
1. 調査および研究	ICOMBO総会・集会出席	11月 16～19日	ブダペスト	理事1名	支援者、当事者 全般	14,679
2. 情報の普及	全国研修会開催	6月22日	北九州市	理事14名 外部協力者5名 外部講師2名	多胎育児に関 心がある者全般 参加者82名	1,304,892
	JAMBA NEWSの発行 (内容はHPIに掲載)	4月、7月、 10月、1月 (4回発行)	事務所	理事16名	会員・役員 (多胎育児に関 心がある者全 般)	
	子育て支援者のための多胎育児 支援研修プログラムの実施と普及	4月～1月	研修会:豊橋市、 鹿児島市、京都市 広報活動:仙台市	理事6名 外部協力者2名 外部協力団体3団体 地元スタッフ3名	支援者、当事者 全般 参加者54名	
	地域の医療者と連携したピアサ ポート活動普及支援事業プログラ ムの作成と運営講座の試行実施	4月～1月	多胎ファミリー教室 運営講座:岐阜市	理事:5名 外部協力者:2名	支援者、当事者 全般	
3. 意見の表明	Twins' Weekの啓発	10月～11月	事務所	理事6名	支援者、当事者 全般	39,100
	日本子ども虐待防止学会の参加	9月14,15日	名古屋市	理事1名	支援者、当事者 全般	
	「ツインズデーに乾杯」の普及	2月22日	事務所 各地子育てひろ ば、サークルなど	理事6名	支援者、当事者 全般	
事業支出決算額合計						1,358,671

2014年度(第6期)収支決算報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2014年度予算	2014年度決算	備考
会費収入			
正会員会費	200,000	190,000	10,000円×19名(理事16名含む)
賛助会員会費	240,000	182,000	団体会員10団体、多胎家庭24口(21名)、一般会員2名
会費収入小計	440,000	372,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	700,000	736,495	
資料代収入	15,000	36,500	
受取利息	150	301	
収入合計	2,155,150	2,145,296	

支出の部

項目	2014年度予算	2014年度決算	備考
I. 事業費			
1. 調査及び研究			
旅費交通費	0		
通信費	0		
消耗品費	0		
謝金	0		
会場借料	0		
諸会費	0	14,679	ICOMBO会費(2015年)
小計	0	14,679	
2. 情報の普及			
旅費交通費	1,250,000	855,708	全国研修会、研修会等講師スタッフ旅費、会議交通費
通信費	40,000	20,398	ニュースレター・資料送付
謝金	200,000	228,025	全国研修会、研修P・ファミリー教室事業講師謝金他
消耗品費	15,000	33,896	プリンターインク、印刷用紙、封筒他
会場借料	67,000	52,260	研修会場、会議室使用料
会議費	62,000	38,387	お茶、お弁当代
制作費	60,000	44,598	研修会資料・封筒印刷、ファミリー教室テキスト
支払手数料	5,000	1,620	振込手数料
賃金	40,000	30,000	研修会現地スタッフ
雑役務費	0	0	
租税公課	0	0	
小計	1,739,000	1,304,892	
3. 意見の表明			
制作費	20,000	0	
通信費	8,000	0	
旅費交通費	30,000	22,100	虐待防止学会(名古屋市)参加旅費
諸会費	20,000	17,000	虐待防止学会参加費
小計	78,000	39,100	
事業費支出小計	1,817,000	1,358,671	
II. 管理費			
旅費交通費	150,000	48,760	理事会・総会交通費・スタッフ交通費
通信費	30,000	32,864	郵送料・サーバー使用料・電話料金
印刷製本費	70,000	37,800	議案書、リーフレット、封筒他印刷代
消耗品費	15,000	108	文房具
会場借料	10,000	0	
支払手数料	40,000	36,728	支払手数料、活動協力費
雑役務費	0	0	
法人住民税	21,000	21,500	埼玉県、兵庫県県民税
租税公課	80,000	61,200	登記変更費用
会議費	20,000	4,908	
備品費	10,000	1,580	団体ゴム印
諸会費	12,000	12,000	ひろば全協
予備費	10,000	0	
管理費支出小計	468,000	257,448	
支出合計	2,285,000	1,616,119	

2014年度の収入-支出

529,177

2013年度より繰越金

683,003

項目	2014年度予算	2014年度決算	備考
次期繰越収支差額	553,153	1,212,180	

正味財産増減計算書

自 2014年4月1日 至 2015年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1	資産増加額	当期収支差額	529,177
2	負債減少額		0
		増加額合計	529,177
正味財産減少の部			
1	資産減少額		0
2	負債増加額		0
		減少額合計	0
	当期正味財産増加額(減少額)		529,177
	前期繰越正味財産額		683,003
	当期正味財産合計		1,212,180

貸借対照表

2015年 3月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	1,233,680	未払法人税	21,500
		未払金	0
		流動負債合計	21,500
流動資産合計	1,233,680	負債の部合計	21,500
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	683,003
		当期正味財産増加額	529,177
		一般正味財産合計	1,212,180
資産の部合計	1,233,680	正味財産の部合計	1,212,180
資産合計	1,233,680	負債及び正味財産合計	1,233,680

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会

代表理事 志村 恵 様

平成 27 年 6 月 10 日

監 事 杉浦 祐子 印

監 事 吉井 一美 印

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の平成26年度(第6期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上

2015年度役員(案)

五十音順

役割	氏名	所属(専門)
代表理事	志村 恵	金沢大学/いしかわ多胎ネット (ドイツ学、キリスト教学、多胎支援)
理事	糸井川誠子	特定非営利法人ぎふ多胎ネット/多胎児サークルみど・ふぁど
	大木秀一	石川県立看護大学/いしかわ多胎ネット (公衆衛生学、遺伝疫学)
	大岸弘子	ひょうご多胎ネット/おおさか多胎ネット/ツインマザーズクラブ (公衆衛生看護 精神保健)
	大高恵美	日本赤十字秋田看護大学(小児看護学)
	落合世津子	藍野大学/おおさか多胎ネット (地域看護学、公衆衛生看護学)
	君野雅一	放送大学(全科履修生) (法律、社会福祉、メンタルヘルス)
	玄田朋恵	NPO法人いしかわ多胎ネット 多胎育児サークル ピーナッツ・キッズ・クラブ
	佐藤喜美子	湘南医療大学 (助産学・母性看護学)
	田口章子	NPO法人ぎふ多胎ネット 多胎児サークルみど・ふぁど
	田中輝子	特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン 埼玉ホームスタート推進協議会 (多胎育児支援・訪問型子育て支援)
	天羽千恵子	ひょうご多胎ネット/多胎児子育て支援グループ マミーベアーズ
	服部律子	岐阜県立看護大学/ぎふ多胎ネット (母性看護学、助産学)
	布施晴美	十文字学園女子大学 (小児看護学)
	松葉敬文	岐阜聖徳学園大学 (経済学、行動科学)
	村井麻木	ツインズクラブ 久留米/ファミリー・サポート・センターくるめ (社会福祉士 児童・家庭分野)
森 光子	ツインマザーズクラブ/ひょうご多胎ネット	
監事	杉浦祐子	ツインマザーズクラブ
	吉井一美	ツインスタークラブ (行政書士)
顧問	天羽幸子	ツインマザーズクラブ名誉会長(双生児研究、発達心理学)
	今泉洋子	大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター招へい教授 (双生児研究、遺伝疫学、人類遺伝学、周産期の疫学)
	加藤則子	十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授 (小児保健、小児身体発育、親子関係改善行動介入、およびその多胎児版)
	末原則幸	元 大阪母子保健総合医療センター (産婦人科、多胎妊娠・出産管理)
	平岩幹男	Rabbit Developmental Research 代表 (発達障害)

第4号議案

2015年度活動計画（案）

月	事業	運営
4月	ファミリー教室事業会議(30日岐阜県羽島市)	JAMBA NEWSの配信 (年4回+α) HPの更新 立ち上げ支援 情報提供 講師派遣
5月	ファミリー教室事業モデル地域打合せ(30日岡山県総社市)	
6月	第1回理事会・第6回通常総会・第2回理事会(27日埼玉県さいたま市) 事業会議・第6回全国研修会(28日埼玉県さいたま市)	
7月	ファミリー教室運営講座(岡山県総社市予定)	
8月		
9月	ピアサポート事業・支援者研修会 各2回	
10月	ファミリー教室(岡山県総社市予定) TWINS WEEK啓発事業	
11月	↓ 第21回日本子ども虐待防止学会学術集会(20~21日新潟市)	
12月		
1月	日本双生児研究学会(東京都町田市・23日) 事業会議・第3回理事会(東京都町田市・25日)	
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

次年度事業説明
(3カ所程度)

第5号議案

2015年度(第7期)収支予算案
(2014年4月1日～2015年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2014年度決算	2015年度予算	備考
会費収入			
正会員会費	190,000	200,000	10,000円×20名(理事17名含む)
賛助会員会費	208,000	215,000	団体会員10、多胎会員30、一般会員5
会費収入小計	398,000	415,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	700,875	700,000	
資料代収入	8,500	25,000	全国研修会資料代@500×50名
受取利息	169	200	
収入合計	2,107,544	2,140,200	

支出の部

項目	2014年度決算	2015年度予算	備考
I, 事業費			
旅費交通費	877,808	1,300,000	全国研修会・研修会等講師スタッフ、会議、虐待防止学会
通信費	20,398	80,000	全国研修会案内・メルマガ・資料他発送料
謝金	228,025	300,000	全国研修会・研修会等講師・委員謝金
消耗品費	33,896	30,000	封筒・印刷用紙・プリンターインク他
会場借料	52,260	150,000	研修会場、会議室使用料
制作費	44,598	26,000	研修資料、広報パンフレット印刷代等
会議費	38,387	64,000	お茶、弁当代
支払手数料	1,620	2,000	振込手数料
賃金	30,000	60,000	助成事業賃金(地元スタッフ等)
雑役務費	0	12,000	託児費・行事保険料
租税公課	0	0	
諸会費	31,679	25,000	ICOMBO年会費、虐待防止学会参加費
事業費支出小計	1,358,671	2,049,000	
II, 管理費			
旅費交通費	48,760	76,000	理事会・総会旅費、スタッフ交通費
通信費	32,864	30,000	郵送料・サーバー使用料
印刷製本費	37,800	5,000	封筒他印刷代
消耗品費	108	15,000	プリンターインク・文房具他
会場借料	0	10,000	総会・理事会会場費
支払手数料	36,728	40,000	支払手数料、活動協力費
雑役務費	0	0	
賃金	0	0	
法人住民税	21,500	22,000	兵庫県県民税
租税公課	61,200	10,000	登記変更費用
会議費	4,908	5,000	
備品費	1,580	10,000	
諸会費	12,000	12,000	ひろば全協
予備費	0	10,000	
管理費支出小計	257,448	245,000	
支出合計	1,616,119	2,294,000	

項目	2014年度決算	2015年度予算	備考
次期繰越収支差額	1,212,180	1,058,380	

平成26年度 計画助成事業実施報告書

平成27年4月5日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

(〒 651-2242)

住所 兵庫県神戸市西区井吹台東町3-2-8-202

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会



代表者 志村 恵



T E L 078-992-0870 F A X 同左

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	多胎家庭の虐待予防のための連携型支援事業
2. 事業目的	妊娠・出産・育児において多くのリスクと負担を負う多胎家庭に対して、地域で当事者と様々な立場の支援者が連携して行う支援の仕組みづくりを目指す。
3. 事業概要	<p>多胎家庭への支援活動をより有効に普及するための鍵となる、地域の子育て支援者・医療者と当事者をつなぐ事業と、その連携に立脚した地域支援力の向上を目指し、具体的事業として以下の3つの事業を行った。その遂行のために委員会を組織し、全体会と分科会を行った。</p> <p>I) 「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 ・H25年度においてブラッシュアップしたプログラムを用いた研修会を3カ所で実施した。</p> <p>II) 「地域の医療者と連携したピアサポート活動普及支援事業」 ・妊娠期からの多胎家庭支援のための「多胎ファミリー教室」の講座案とテキスト案を作成し、それを支援者が行うための「運営講座」の試行版を行い、プログラムの検討を行った。</p> <p>III) 「地域支援事業」 ・全国研修会を開き、地域での多胎支援活動のポイントや先進的な地域の事例を示し、参加者に多胎支援の必要性や手法を伝え、地域の支援者が出会い、各自が自分の地域や立場でどのような連携支援ができるのかを考える場を提供した。</p>
4. 事業時期内容	<p>I) 「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」</p> <p>1) 「ツインズファミリー、子育てひろばにWelcome! 研修会2014」を下記3カ所で、各地の子育て支援拠点団体の協力を得て実施。</p> <p>①10月16日、協力：特定非営利活動法人NPOまんま（愛知県豊橋市）、会場：アイプラザ豊橋、参加者：15名</p> <p>②11月7日、協力：鹿児島市東部親子つどいの広場「なかまっち」（鹿児島県鹿児島市）、会場：鹿児島市すこやか子育て交流館りぼんかん、参加者：12名</p> <p>③11月28日、協力：京都市社会福祉協議会葛野（かどの）児童館（京都市右京区）、会場：葛野児童館、参加者：27名</p> <p>2) 事業チーム会議3回：5月31日（大阪市）、6月21日（北九州市）、1月25日（金沢市）</p> <p>3) 広報活動1カ所：12月14日（仙台市） 対象先：みやぎ多胎ネット</p> <p>II) 「地域の医療者と連携したピアサポート活動普及支援事業」</p> <p>1) 4～7月：テキスト、パワーポイント、配布資料などの作成と修正</p> <p>2) 8月9日：「妊娠期の多胎ファミリー教室運営講座」試行講座（岐阜市）実施 参加者：26名</p> <p>3) 9月～2月：試行講座のアンケート集計、運営講座プログラム、資料などの修正</p> <p>4) 事業チーム会議3回：4月30日（名古屋市）、6月21日（北九州市）、1月25日（金沢市）</p> <p>III) 「地域支援事業」</p> <p>1) 6月22日、全国研修会「つながろう！ふたご・みつごを安心して地域で産み育てるために」開催（北九州市）、協力：ツインスタークラブ（北九州市）、参加者：82名</p> <p>講演Ⅰ 「多胎家庭支援のポイント」 大岸弘子（元尼崎市保健師・当協会理事）</p> <p>講演Ⅱ 「多胎家庭が求める切れ目のない支援」 糸井川誠子（NPO法人ぎふ多胎ネット理事長・当協会理事）</p> <p>2) 打合せ：5月31日（大阪市）、6月21日（北九州市）</p> <p>IV) 全体会2回：6月21日（北九州市）、1月25日（金沢市）</p>

<p>5. 事業成果</p>	<p>I) 「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 豊橋研修会後には、協力団体の事業として「集まれ！ツインズファミリー～ママのしゃべり場～」が2月に開催された。それに備え、スタッフへのさらなる研修の機会をとの依頼があり、1月21日に当協会理事を講師とした追加の研修会を開催。「多胎支援の大切さを実感し、H27年4月より毎月1回多胎児の会の開催を予定している」との報告があった。鹿児島研修会では、その後「サークルリーダーのつどい」が1月に開催され（協力団体会場と保育サポーターを手配し、全面的に支援）、当事者主体の活動を支えていけるように支援者が連携しながら、今後の多胎育児家庭への支援を進めていくことが決まった。このように、研修会を契機に、開催地域で具体的な取り組みが始まるなど、当事者と支援者双方をエンパワーメントし、大きな成果が得られている。</p> <p>また、京都研修会は、昨年度の研修会参加者からの依頼で開催したものだが、今年度の参加者からも来年度は自分の団体で開いてほしいという要望を得た。プログラムが評価され、地域とのつながりも持っていることが感じられ、自主事業化への糸口となるのではと期待している。</p> <p>II) 「地域の医療者と連携したピアサポート活動普及支援事業」 今年度は以下のものが成果物として作成できた。 ①「多胎ファミリー教室」のプログラムとテキスト ②「多胎ファミリー教室運営講座」のプログラム、講座のパワーポイント資料、配布資料</p> <p>III) 「地域支援事業」 今回の全国研修会では協力団体の希望も踏まえ、専門職と当事者の連携による多胎支援を考える内容としたが、協力団体からの呼びかけにより、保健師や助産師などの専門職の参加が多数あった。当日アンケートでは、特に専門職から高い評価を得ていることがわかる。協力団体によると、この研修会を機に行政関係者より多胎家庭支援についての提案がいくつか寄せられているとのことであり、本研修会が当該地域の多胎支援の推進に寄与したと考える。</p>
----------------	--

<p>6. 今後の計画</p>	<p>I) 「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実施・普及事業」 この研修プログラムは、4年間で下記15団体の協力を得て実施し、毎年改訂を繰り返してきた。今後は、DVDと基礎知識の部分をベースとしながら、地域や参加者等によってワークの内容や時間を工夫するなどフレキシブルに講座を組むようにして、対象者を「ひろば（子育て支援拠点）」に限定せず、「地域で支える多胎支援研修会」として、さらなる普及を目指す。</p> <p>2011年度：WAM助成（6時間 ver.） ・ NPO法人子育てサポートセンター・きらきらくらぶ（福井県敦賀市） ・ NPO法人ふらっとスペース金剛（大阪府富田林市） ・ NPO法人子育てサポーター・チャオ（埼玉県越谷市） ・ 社会福祉法人北方福祉会 延岡子育て支援センターおやこの森（宮崎県延岡市）</p> <p>2012年度：こども未来財団助成（3時間半ver.） ・ NPO法人かもママ（石川県加賀市） ・ 武蔵野市子ども家庭課（東京都武蔵野市） ・ NPO法人きよね夢テラス子育て応援っこ（岡山県総社市） ・ まちひとぶら座かなかこかん（岐阜県高山市）</p> <p>2013年度：キリン福祉財団助成（3時間半ver.） ・ NPO法人子育てネットワークえひめ（愛媛県松山市） ・ NPO法人あきたキッズネットワーク（秋田県） ・ NPO法人子育て支援ボランティアくるるん（福岡県久留米市） ・ 京都市明德児童館（京都市）</p> <p>2014年度：キリン福祉財団助成（2時間半ver.） ・ NPO法人NPOまんま（愛知県豊橋市） ・ 鹿児島市東部親子つどいの広場「なかまっち」（鹿児島県鹿児島市） ・ 京都市社会福祉協議会 葛野（かどの）児童館（京都市右京区）</p> <p>II) 「地域の医療者と連携したピアサポート活動普及支援事業」 来年度は多胎ファミリー教室プログラムと運営講座プログラムを一つのパッケージとして整理する。そして、このパッケージを用いてモデル地域で実施し、これに基づき修正を加え、パッケージの完成を目指す。</p> <p>III) 「地域支援事業」 全国研修会では、全国各地から参加者を募り、その参加者同士の交流の場を設け、多胎家庭支援・子育て支援に関する情報を提供し、それらを参加者が各地に持ちかえることでの地域支援力向上を図っている。また、開催地の当事者や支援者がエンパワーメントされ、それらのメンバーを核とする多胎家庭支援ネットワークが芽生えることを期待し、今後も地域選定を行いつつ継続する予定である。</p> <p>なお、全国研修会の参加者数は、H25年度50名、H26年度82名と年々増加の傾向にある。H27年度は100名の参加を目指したい。</p> <p>今後もこれまで構築してきた手法を用い、多胎家庭支援のための地域拠点形成を各地で進めたいと考える。</p>
-----------------	--

平成26年度 会計収支報告書

平成27年4月5日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会



収入の部

項目	金額						備考
	十 万	万	千	百	十	円	
1 キリン福祉財団助成金	1	0	0	0	0	0	
2 自己資金		1	0	7	4	6	
3 資料代			3	6	5	0	全国研修会 @1,000×35、@500×3
4							
5							
6							
(A) 合計	1	1	4	3	9	6	

支出の部

項目	金額						備考
	十 万	万	千	百	十	円	
1 謝金		1	0	8	4	1	支援者研修外部講師@33,411×1、会議出席@5,000×10、 全国研修会現地協力者@5,000×4、 全国研修会指定発言者@5,000×1
2 印刷製本費			4	4	5	9	コピー代@10×33枚、案内印刷@3,160×1、封筒印刷@4,700×1、 研修会資料@10,260×1、カット代@500×10枚、 レイアウト代@500×22頁、資料印刷@13×84枚+@8×1132枚
3 旅費交通費		8	1	8	9	7	4/25F教室会議29,430円、5/31全国研修会打合せ&研修P会議 72,760円、6/21~22チーム会議&全体会&全国研修会279,550 円、 8/9F教室岐阜講座43,250円、10/16~11/7研修P打合せ&当日 150,724円、1/25~26チーム会議&全体会216,914円、広報活動
4 通信費			2	0	1	3	宅配便5,724円、メール便@82×101、@185×1、@267×2、 レターパック@510×2、ゆうパック@930×2、切手代2,526円
5 会場費			5	2	2	6	チーム会議24,020円、全国研修会7,000円、岐阜試行講座4,000 円、 研修P7,640円、チーム会議+全体会9,600円
6 消耗品費			3	3	8	9	全国研修会用品1,560円、印刷用紙・インク他事務用品32,336円
7 その他(会議費)			3	4	0	6	弁当・お茶代 チーム会議8,100円+8,520円、全体会17,446円
8 その他(賃金)			3	0	0	0	現地協力者 @1,000×10h×3力所
9 その他(雑役務費)						0	
10 雑費(支払手数料)				1	6	2	支払手数料@108×1、@216円×7
(B) 合計	1	1	4	3	9	6	